

# 掛川市男女共同参画情報誌 第16号

男性と女性 人と人

家庭・地域・学校・職場・行政を互いにつなぎ合う

## かけはし

## ～男女共同参画～ 地域の元気のキーワード



平島区出前講座  
12月8日

完成直近な第2東名にそびえ立つ橋脚をくぐり抜け、平島区(掛川・原田地区)に伺い、推進委員による出前講座を行いました。戸塚博区長さん始め、様々な年齢層の区民の皆様にお集まり頂き「地域で育む男女共同参画」をテーマに、男女共同参画の必要性や、自治会・自主防災会への女性役員の早期登用について、意見交換を行いました。

平島区は区の3役に女性の登用はまだありませんが、あらゆる区の行事に女性が積極的に関わり、生き生きと活躍されている様子を伺いました。

「役職」と言う肩書にとらわれることなく、絶妙なバランスで男性力・女性力を高め合って地域活動を円滑に行って来られた、平島区ならではの「信頼と絆」を感じました。今後、時代のニーズと共に男女共同参画推進の機運がより高まって、更なる地域の活性化が図られて行くことでしょう。

公民館建設委員会の委員として、参画された女性達の視点や感性を、ふんだんに取り入れたとおっしゃる未だ木の香の漂うステキな会場にて、師走の夜、ホッと心が温まるひと時でした。

### カジダンみつけた!



11月20日

・H22年4月発足 ・会員数11名 ・活動毎月第3日曜日  
※カジダンとは、家事に積極的な男性のこと

### 男子厨房に入る会 (掛川市原田 高山区)

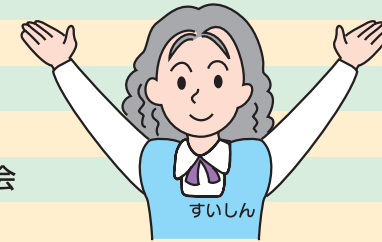
最近は一入暮らしや老々介護の方もあり、妻の留守・病気等に対応し、自分達で料理を覚えて妻の手助けをする目的で、区民に対して会員を募集しました。当日の献立・買物・調理をすべて自分達で考え実行し、マイ茶碗・マイ箸を持参して環境問題にも配慮しています。また、エプロン・三角巾・マスクを着用して衛生面にも特に気を使っています。この月1回の活動が食事をしながらのコミュニケーションの場になっており、薄れがちな地域の絆を担っていると実感しています。今後は更なる会の発展と他地区への情報発信に心掛け、厨房仲間が増えてくれる事を望んでいます。

会長 木下 英雄

## 宣言事業所募集中!

これからの新しい時代、男女各々の能力と適正を最大限に企業、社会、家庭の中で発揮できるよう、その取り組みに賛同して下さった事業所・団体の皆様です。その輪を更に広げていけるよう随時宣言事業所を募集しております。

新しく  
宣言した事業所を  
ご紹介します

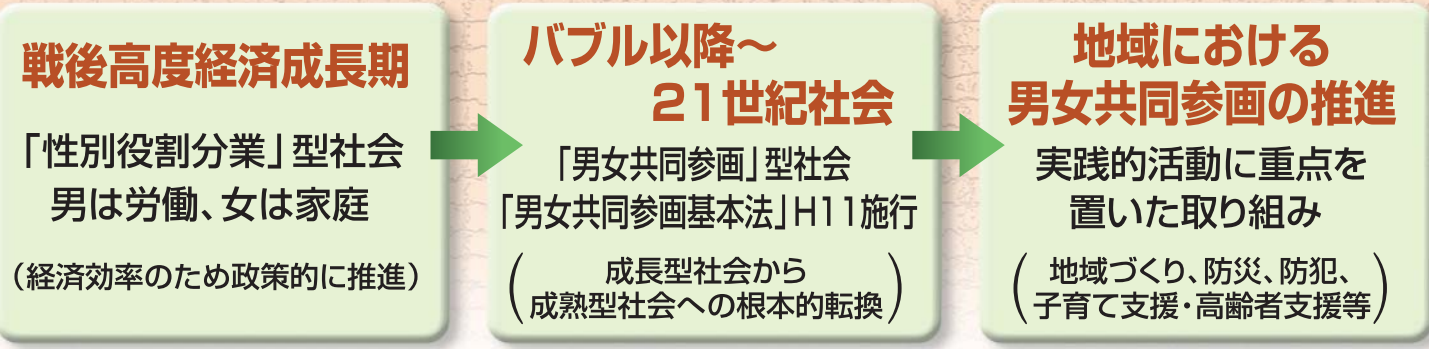


医療法人社団 学修会	ウシオケミックス 株式会社
NPO法人 掛川国際交流センター	NPO法人 とうもんの会
岡田建設 株式会社	掛川工業 株式会社
掛川市民大学校学生会	掛川信用金庫
株式会社 アビサレ	株式会社 小笠モーターズ
株式会社 カードベル	株式会社 博林組
株式会社 野賀企画	株式会社 丸横運送
株式会社 道の駅掛川	掛川市赤十字奉仕団
株式会社 藤本組	学校法人・社会福祉法人 未来掛川こども園
このゆびと一まれ	災害VC掛川
社会福祉法人 掛川市社会福祉協議会	社会福祉法人 未来さくらぎこども館
社会福祉法人 未来桜木保育園	社団法人 掛川市シルバー人材センター
新興電機 株式会社 掛川工場	中国料理 好
特定非営利活動法人 ぷらいどサポートセンター	特定非営利活動法人 掛川市体育協会
中根製茶 株式会社	日本生命保険相互会社 掛川営業部
f.a.n. (地域医療を育む会)	松浦梱包輸送 株式会社
丸松興事 株式会社	未完の会
山啓製茶 株式会社	ヤマハモーターパワープロダクツ 株式会社
有限会社 小嶋薬局	有限会社 静岡通商
有限会社 T&Oリソーセズ	

宣言に関するお問合せ  
静岡県男女共同参画課  
☎054-221-3363  
または県ホームページまで  
静岡県 宣言 検索

平成24年1月末現在 50音順

## 男女共同参画社会のあゆみ



## ひとりで悩まないで「掛川市女性相談室」

毎週 火曜日

あなたの悩みや困っていることについて、女性カウンセラーがお聞きします。まずは話してみませんか。

相談例 出産、育児の悩み…、離婚の悩み…、虐待や家庭暴力の悩み…、など

	相談日	電話番号
面接相談 (要予約)	毎週火曜日 13:00～16:00	0537-21-1129 (予約専用)
電話相談	毎週火曜日 10:00～12:00	0537-21-1119 (電話相談直通)

※祝日、年末年始はお休みになります。

○面接相談 予約制・相談料無料 秘密厳守

発行日 ●平成24年3月1日 編集 ●掛川市男女共同参画推進委員会  
発行 ●掛川市生涯学習まちづくり課 男女共同参画係 / 〒436-8650 掛川市長谷1-1-1 電話21-1129 / FAX21-1164  
掛川市生涯学習まちづくり課メールアドレス tiiki@city.kakegawa.shizuoka.jp

この情報誌は資源リサイクル推進のため、再生紙を利用しています。

あなたの命を守る防災講座 9月7日

## 地震!津波!あなたの命!

講師/静岡県地震防災アドバイザー 郷 隆志さん

予想される東海地震は、巨大地震と大津波が重なる「激震災害」となる認識を持ち、今後も防災教育・避難訓練を継続する重要性を、講師の郷先生は80名余の受講者に訴えた。

自分の「命を守る」ことは、まず、自助力を高めること。災害に備え日タイメージトレーニングをすることで、安全確保のための防災意識と知識が培われていく。被災すれば避難所での生活が余儀なくされ、その運営は自治会や自主防災会に委ねられることが多くなる。普段の地域活動の中で老若男女が互いに意思の疎通を図り、それぞれが主体的に考え行動していくことにより、いざという時に組織力が発揮され、スムーズな避難所運営ができる。避難所運営の意思決定の場には女性の視点が不可欠であり、自治会や自主防災会に女性の参画が必要だと話された。



感じのいい話し方聴き方講座 11月19日

## 話し方のキャリアアップ

講師/元あさひテレビアナウンサー 原田裕見子さん

自分の意見を上手に伝えるキャリアアップの為に企画したもので、定員を超える60名の方が参加した。講師の入社当時の発音や滑舌をよくする早口言葉などをトレーニングし、10のポイントを教えていただきました。



会話の10のポイント

- ①会話がおもてなし
- ②相手の名前を会話におりこむ
- ③雑談力をつける
- ④会話はキャッチボール
- ⑤7対3の法則(聴く7・話す3)
- ⑥相づち
- ⑦ヘソを向ける
- ⑧言動はポジティブに
- ⑨話はワンテーマ
- ⑩目を合わせる目力・アイコンタクト

会話はおもてなし 先手挨拶! 先手笑顔!

参加者の声

人と話をするのに大切なことは人に対する思いやりなのだと思います。

参加者の声

“相手にリラックスを与える”とか“相手が答えやすい会話”は大切だなと思いました。色々な方と話をしたくなりました。

ほめほめプロジェクト 10月29日

## 育児は育自 めざせイクメン

講師/石山有子さん・松浦美晴さん

声かけによる子育て支援(未就学児親子対象)



参加者の声

生活の中でほめることはなかなかしないが、日頃言うことによって習慣になり、日常的にできたらとてもHAPPYだと思う。

ほめの言葉探しや、自分の良いところを書き出し、お隣同士ほめ合いました。ほめられるとうれしいもの…まず自分をほめて認めることが、相手をほめ認める第一歩です。

講話が終わり早速託児中の子どもに、「楽しかったね」「パパが勉強できてうれしかったよ」と声かけをしました。親子で絵本の読み聞かせや、フワフワの綿菓子を食べて楽しみました。

子どもの良いところを見つけて、ほめることで育児上手になって、めざせイクメン……。

育児休業後職場復帰準備セミナー 11月30日

## 仕事も子育てもHappyに! しなやかワーキングマザー入門

講師/キャリアカウンセラー 飯島めぐみさん

育児休業中、妊娠中、仕事を継続したい女性たちを対象に行いました。仕事と子育ての両立、職場復帰前に準備することなどのヒントを、グループワークの中で見つけ、復帰しやすい環境を作る事を目的としました。仕事と子育てを両立するために子育てについて託児所の選択、時間コントロール、仲間づくり等を学びました。



参加者の声

- 今までは漠然とした不安ばかりだったけれど、具体的な策を聞くことができてよかった。
- 復職することに前向きになった。限られた時間で働くことは自分の成長にもなるというお話が心強かった。
- もっと気楽に周りにも協力を求めてやっていきたい。

新たなKizunaを育んで  
広めるつなぐ支えあう  
ホップ ステップ  
参画!  
職場・学校・地域・家庭などあらゆる分野での  
男女共同参画推進中  
誰もがいきいきと活躍するために

「女性の政治参画」講座 1月28日

## ～なぜ女性議員が必要か～

講師/静岡大学情報学部教授 笹原 恵さん

全国の人口10万人規模の市において、女性の議員が皆無な市はたった2市…愛媛県今治市と何と我がまち掛川市です。このような現状を踏まえて、掛川市の男女共同参画を今後、更に推進していく観点からも市民の皆さんに、女性が政治参画する必要性を認識していただき、女性議員が一人でも多く誕生するきっかけをつくるために、今回この講座を企画しました。

講師の笹原先生から「男女共同参画社会」とは何か、「なぜ女性議員が必要か」について、様々な資料や情報を基にお話しいただきその内容を踏まえて、ファシリテーター\*としてお招きした、掛川市農協女性部・JCI掛川青年会議所・前県議会議員・(株)ジャパンナビゲーション・遠州ナビの4名の方々と参加者は4つのグループにわかれ、3つのポイントに的をしぼってワークショップを行いました。



\*ファシリテーターとは、会議の進行役であり、会議の目的を達成するためにメンバーに働きかけをする支援者のこと。

参加者の声

〈女性議員を増やすために必要なこと〉

- ・自治会役員に女性を登用
- ・女性グループで政治を語る場がほしい
- ・市民の意識改革
- ・女性が女性の足を引っ張らない
- ・女性の自立と男性の理解
- ・女性の能力アップ
- ・クオータ制度の導入

〈なぜ女性議員が必要か〉

- ・子育てしやすい環境をつくるため
- ・地域社会の問題解決に女性の視点が必要
- ・女性の地位の向上のため
- ・政策決定の場に女性の視点が必要

〈私達のまちに足りないもの〉

- ・女性が活動的ではない
- ・女性の経済的自立が出来ていない
- ・地域性(封建的)で女性の活動の場が少ない
- ・家庭の中での男女の自立

ワークショップ終了後

笹原先生は、生涯学習が盛んなまちである掛川市の女性議員を増やすために、女性は自分達が現在おかれている状況を認識し、女性同士が共通の理解を深め、連帯感を持つことが大切である。女性の地位向上のためには、政治の場における男女共同参画・男女平等の推進、意思決定や政策決定の場へ女性の参画が不可欠であると話された。「今日、受講された皆さんの中から、これから沢山の女性議員が誕生する熱気を感じる。」と、力強いエールをいただきました。